

Climbing Routes

第2学年テーマ▶すごいぞ明和

目指す児童像

地域の人々やいろいろなものに繰り返し関わる活動を通して、多面的に明和のよさを発見し、そのよさを話すことができる児童。

月	生活科	各教科等との関連の視点				ESD でつきたい能力・態度
		知識の深化 学習内容・認知	技能の活用 技能・リテラシー	価値の醸成 情緒・価値観	行動の変容 態度・行動	
4	【春だ今日から2年生】⑥ ・春をさがそう ・「こい」「ねえ」として1年生との関わり	国【春がいっぱい】 	国【きょうのできごと】 算【グラフとひょう】	道【正直・誠実(子だめきボン)】	道【学校、大すき】	
5	【どきどきわくわく町たんけん】⑫ ・町のことを話そう ・町たんけんの計画を立てよう サツマイモ植えやミニトマト栽培を通して高まった野菜づくりへの関心から探検する場所を決めた。	国【たんぼぼのちえ】 ・説明の順序	国【かんさつ名人になるう】 ・観察の仕方 図【新聞紙となかよし】 ・みんなで協力	国【うれしいことば】 ・友だちや他者との関わり 体【リズム遊び】 ・大倉八木節	道【すきなこととくいなこと】	
6	【大きなあれわたしの野さい】⑫ ・サツマイモ、ミニトマトを育てよう ・町たんけんに行こう(1) 農家の人に話を聞こう  	国【スイミー】 ・海や生き物との関わり ・あらすじを書く 	算【長さのたんい】 国【こんなもの、見つけたよ】 ・見つけたものの紹介	道【ぼくのカブトムシ】 音【かえるのがっしょう】 道【個性の伸長(絵がすき・海がすき)】	道【わたしのすむ町】 ・地域のよさ 	⑥つながりを尊重する態度
7	◇明和発見タイム(恵みの森散策)	国【あったらいいなこんなもの】 国【夏がいっぱい】 	算【長さ】	図【たのしかったよどきどきしたよ】 道【自然の命】	道【みんなのために】 ・公共の精神	
8					道【行ってみたい】 ・自国の文化	
9	【もっとなかよし町たんけん】⑬ ・町たんけんの計画を立てよう ・もういちどたんけんに行こう			音【音のスケッチ】 ・自然や町の音 	図【音づくりレンズ】 ・考える力がつくと	
10	・まちの人となかよくなるう ・図書館に行こう ・昔話を発表しよう  	国【秋がいっぱい】  国【どうぶつえんのじゅうい】	国【そうだんにのってください】 ・話をつなげる	音【虫のこえ】 行【学習発表会】 ・昔話	道【自分にもあるよさ】	⑥つながりを尊重する態度
11	トマト農家だけではなく、地域のために働いている人や、よいものを残そうとしている人との関わりを通して、地域への愛着を高めることができた。	国【わたしはおねえさん】 ・自分との比較	国【おもちゃの作り方をせつめいしよう】	行【フリー参観】 ・昔遊び	行【フリー参観】 ・清掃活動	
12	【つたわる広がるわたしの生活】⑨ ・伝えたいな町のすてきなできごと ・町のすてきをつたえよう  	国【冬がいっぱい】 	国【お話のさくしゃになろう】		道【節度・節制(おにいちゃんしっかり)】	
1			体◆スキー・雪遊び ・雪の楽しみ方、体の動かし方	国【見たことかじたこと】 ・心が動いたこと		
2	◇雪像づくり ◇でんとうげいのうはっぴょう会	国【すてきなところをつたえよう】				
3						

【どきどきわくわく町たんけん】

野菜を育てることをきっかけに身近な地域に出かけることで、明和ではどのようながものを育てているかを探検して調べたり、地域の人々のよさを感じたりする。探検してわかったことからお世話になった人のすごいところへと考えを深め、話すことができる。

【もっとなかよし町たんけん】

探検する対象を広げ、地域の人々と関わる活動を通して、地域には生活したりみんなのために働いたりしている人々がいることや、それらの人々と自分たちの生活がどのように関わっているのかわかる。それを通して、地域の人々に親しみや愛着をさらに高め、多面的に町のよさに気づき、話すことができる。

【つたわる広がるわたしの生活】

地域の人々と関わったことを振り返り、自分の心に残った地域の出来事を身近な人々に伝えるため、表現する方法を考えてまとめる。まとめたものを伝える活動を通して、身近な人々と関わることのよさや楽しさに気づき、今後地域の人々と進んで交流しながら生活していこうとする気持ちを高めることができる。

児童の実態

「自然がいっぱい」「人がやさしい」と只見のじまんを話すが、具体的な名前を挙げるができる児童は少ない。もっと遠くへ行ってみよう、調べてみようという行動や考えを広げようとするところまでは至っていない。

教師の願い

明和に住む人やものとの出会いを通して、明和のよさに気づくことで、「自分たちの地域には、こんなにすごい人やものがあるんだ」と話せる人になってほしい。繰り返し対象に関わり、人やもののつながりを感じてほしい。